

情報公開文書

研究の名称	複雑化する成人先天性心疾患に対する新たな手術リスク予測モデルの開発
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	小児科 廣野恵一
研究の概要	<p>【研究対象者】 富山大学附属病院において、先天性心疾患の診断で18歳以降に心臓手術を受けた方</p> <p>【研究の目的・意義】 複雑心奇形を伴う成人先天性心疾患患者(Adults with Congenital Heart Disease: ACHD)は、生涯で複数回の手術を要することが多いです。病態の複雑なACHDの周術期の予後予測は困難であり、客観性のある多面的な術前リスク評価が必要です。近年、欧米からACHDにおける手術リスク予測モデルが報告されましたが、その煩雑さや多面性の欠如から臨床に根付いていません。本研究の目的は、ACHDのデータベースを元にした、予後予測能の高い、臨床上有用な手術リスク予測モデルを開発することです。有用なリスク予測モデルが確立されれば、成人と同様にACHDでも、客観的な手術リスク評価が可能となります。精密なリスク評価に基づき適切な手術が選択されることで、ACHDは生涯にわたり、より高い生活の質を保つことができます。</p> <p>【研究の方法】 この研究は、研究代表機関として東邦大学医療センター大森病院の倫理委員会の承認を得て実施するもので、多施設共同研究として行います。対象者は2013年5月から2023年4月までに富山大学附属病院で、先天性心疾患に対して18歳以降に心臓手術を受けた方の診療録から抽出したデータを解析します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ~ 2026年4月30日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがあります。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	情報:富山大学附属病院の診療録から病歴、診療の治療歴、治療経過、副作用等の発生状況を収集します。研究代表機関である東邦大学医療センター大森病院と情報の共有を行います。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	榊原記念病院 矢崎諭 岡山大学 赤木禎治 国立循環器病研究センター 藤本一途 東京女子医科大学 稲井慶 東京大学 平田康隆 富山大学附属病院 林篤志 など
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。

試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	東邦大学医療センター大森病院 佐地真育
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7313 FAX E-mail khiro1073@gmail.com 担当者所属・氏名 小児科 廣野恵一